



2024年9月30日

各位

名古屋市中区栄三丁目33番13号
株式会社中京銀行

中京ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

株式会社中京銀行（頭取 小林 秀夫）は、株式会社フコク東海（本社愛知県名古屋市、代表取締役 伊藤 幹根）と、中京ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結しましたのでお知らせいたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記

1. 融資概要

契約締結日	2024年9月30日（月）
融資金額	1,000百万円
融資期間	5年
資金使途	運転資金

2. 株式会社フコク東海の概要

本社所在地	愛知県名古屋市中区栄五丁目27番3号
代表者	伊藤 幹根
事業内容	自動車用電子制御部品設計製作 酸素分析計など各種測定器設計製作 各種ソフトウェア、システム開発関連業務 精密製罐、板金設計製作 各種プラント設備設計、製作、据付、施工 二輪車、自動車用部品の機械加工 その他シリンダー等精密加工 空調、冷凍、給排水衛生、受変電設備、関連機器販売及び設計、施工、メンテナンス 屋外工作物のデザイン・設計・制作・施工
設立年月	1948年4月
電話番号	052-301-6163

3. 特定されたインパクトと測定するK P I（2030年に向けた目標）

（１）最高品質の製品の提供
①当社事業の過半を占める自動車関連製造部門の売上高を毎年度、前年度比で３％増加させる ②IS09001 認証の更新・維持 ③IATF16949 認証の更新・維持 ※IATF16949 認証：自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格。認証機関はBritish Standards Institution
（２）環境に配慮した取り組みの促進
①IS014001 認証の更新・維持 ②工場（富永・佐屋）の生産高あたりのCO ₂ 排出量を2030年12月期に2023年12月期比30%削減
（３）働きがいある職場環境づくり
①2028年12月期までに従業員数を400名とする（現在363名） ②2028年12月期までに業務に必要な資格（管工事施工管理技士、土木施工管理技士、電気工事施工管理技士、機械加工技能士、危険物取扱者、ITパスポート）の新規取得者数を10名以上とする（2023年12月期の取得者数：2名）

4. ポジティブ・インパクト・ファイナンスについて

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「K P I」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。

K P I の達成に向けて取り組む過程を対外的に発信することで、お客さまの社会的評価の向上が期待されます。

本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※１）。

（※１）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R & I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（U N E P F I）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（P I F 原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

以 上

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」評価書
～ 株式会社 フコク東海 ～

2024 年 9 月 30 日
株式会社中京銀行
営業推進部
ソリューション営業グループ

目次

はじめに	2
1. 企業概要	2
(1) 会社概要	
(2) 沿革	
(3) 認証取得一覧	
(4) 経営理念	
2. 事業内容	6
(1) 電子制御部品の製造	
(2) 大型板金製品・切削加工製品の製造	
(3) 空調プラント、水処理設備、給排水設備等の提供	
(4) 上下水道設備や水処理プラントなどの設計・施工	
(5) 環境に適応したデジタルソリューションの提供	
3. ESG・SDGs の取組	18
(1) 環境負荷低減への取り組み	
(2) 地域貢献	
(3) 女性活躍推進・人材育成	
4. インパクトの特定	20
(1) バリューチェーン分析	
(2) インパクトマッピングによるインパクト分布	
(3) インパクト分布図	
①当社の川上における事業のインパクト	
②当社における事業のインパクト	
③当社の川下における事業のインパクト	
(4) 特定したインパクト	
(5) 国内のインパクトニーズ	
(6) 特定したインパクトに対する中京銀行の方向性との確認	
5. 測定する KPI	26
6. インパクト管理体制	28
7. モニタリング方法	28
8. 総括	28

はじめに

株式会社中京銀行は、株式会社フコク東海の事業活動が「環境」・「社会」・「経済」に及ぼすインパクトを分析・評価しました。この分析、評価は、国際環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、中小企業に対するファイナンスに適用しています。

<融資条件概要>

融資形態	証書貸付
融資金額	1,000,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

1. 企業概要

（1）会社概要

■株式会社フコク東海

会社名	株式会社 フコク東海
設立年月日	昭和 23 年 4 月
資本金	5,000 万円
代表取締役	伊藤 幹根
事業内容	1.自動車用電子制御部品設計製作 2.酸素分析計など各種測定器設計製作 3.各種ソフトウェア、システム開発関連業務 4.精密製罐、板金設計製作 5.各種プラント設備設計、製作、据付、施工 6.二輪車、自動車用部品の機械加工 7.その他シリンダー等精密加工 8.空調、冷凍、給排水衛生、受変電設備、関連機器販売及び設計、施工、メンテナンス 9.屋外工作物のデザイン・設計・制作・施工
本社所在地	名古屋市中区栄五丁目 27 番 3 号
事業所	1.富永工場 名古屋市中川区水里二丁目 130 番地 2.佐屋工場 愛知県愛西市北一色町四町 16

	3.名古屋営業所 名古屋市東区名駅南一丁目 12-9 グラントピア名駅南 6F 4.大阪営業所 大阪市都島区高倉町 1-7-7 アーバネックス都島ビル 2F 5.艾賦醒（上海）商貿有限公司 上海市長寧区仙霞路 317 号 遠東国際広場 B 棟 2207 室 6.富国東海（香港）有限公司 香港九龍旺角弥敦道 655 号 胡社生行 10 楼 1011 室
売上高	179 億円（2023 年 12 月期）
従業員数	363 人（2024 年 8 月現在）
決算月	12 月

（２）企業沿革

昭和 12 年 4 月	創業者・伊藤八郎、富国マシン商会を創立。マシン部品の製造卸販売を開業。
昭和 21 年 10 月	現在地・名古屋市中区栄 5 丁目 27 番地に社屋並びに工場を建築。 マシン及び部品製造販売を開始する。
昭和 23 年 4 月	富国マシン製造株式会社設立。代表取締役伊藤八郎就任。
昭和 31 年 4 月	家庭用マシン及び工業用マシンの製造に関し、日本工業規格表示工場に認定。
昭和 33 年 4 月	自動車関連部品の生産開始。
昭和 39 年 7 月	関連会社、東海電子工業株式会社を設立。 弱電機器、電子機器の開発並びに生産開始。
昭和 46 年 12 月	名古屋市中川区水里 2 丁目 130 番地に富永工場開設。 富永工場にて空調冷却塔の生産開始。
昭和 47 年 1 月	富国第 2 ビル竣工。関連会社フコク産業株式会社設立。
昭和 48 年 12 月	空調衛生関連機器代理店業務開始。建設業登録。
昭和 51 年 5 月	電気工事業、管工事業、機械器具設置工事業等、プラント設備工事部門業務開始。
昭和 52 年 9 月	富永工場、製缶工場新築。
昭和 55 年 12 月	富永工場、機械工場増築。
昭和 56 年 2 月	代表取締役伊藤幹夫就任。
昭和 58 年 7 月	富国マシン製造株式会社よりフコク総業株式会社へ社名変更。 自動車関連精密機械加工部門を分離独立し、フコク工業株式会社設立。
昭和 61 年 10 月	フコク産業株式会社大阪営業所開設。
昭和 63 年 5 月	フコク産業株式会社製缶板金部門を分離独立し株式会社フコク製作所設立。
平成元年 6 月	東海電子工業株式会社天白工場開設。株式会社フコク製作所製缶工場増築。
平成 5 年 7 月	フコク総業、フコク産業、フコク工業、フコク製作所を統合し、 新会社株式会社フコク設立。

平成 10 年 5 月	ISO9001 認証取得。佐屋工場、開設。
平成 10 年 12 月	富永工場、増築。
平成 13 年 7 月	株式会社フコクと東海電子工業株式会社を合併し、 新会社「株式会社フコク東海」設立。
平成 14 年 11 月	ISO 14001 認証取得。
平成 16 年 12 月	富永工場増築。
平成 17 年 5 月	フコク東海本社ビル完成。
平成 19 年 2 月	佐屋工場増築。
平成 20 年 1 月	富永工場事務棟完成。電子工場増築。
平成 21 年 7 月	医療機器製造業許可証（23BZ200071）取得。
平成 22 年 2 月	医療機器製造適合性認定。
平成 23 年 1 月	中国上海に現地法人設立。
平成 23 年 4 月	東京営業所開設。
平成 24 年 1 月	中国珠海の元盛電子と資本提携。元盛電子日本総代理店となる。
平成 24 年 8 月	香港に現地法人設立。
平成 24 年 10 月	中国蘇州東理化電子と資本提携。
平成 26 年 1 月	代表取締役 伊藤幹根 社長就任。
平成 26 年 4 月	中国珠海に合併会社富元電子設立
平成 28 年 11 月	名古屋市より、長年(累計 27 回)にわたる寄付等の功労に対し、 社会福祉事業功労者表彰を受ける。
平成 29 年 10 月	株式会社暁技研と資本業務提携。
平成 30 年 4 月	会社設立 70 周年。
令和 3 年 12 月	富永、佐屋両工場にカーボンニュートラル太陽光発電システム設置。
令和 4 年 3 月	IATF16949 認証取得。
令和 4 年 11 月	愛知県より県政 150 周年記念感謝状を受領。
令和 6 年 7 月	名古屋営業所開設。

(3) 認証取得一覧

区分	認証名称	区分
品質マネジメント	ISO 9001	intertek
環境マネジメント	ISO 14001	intertek
品質マネジメント	IATF 16949	bsi

（４）社長メッセージ

株式会社フコク東海は、「富国マシン」の商号で皆様からご愛顧いただいた家庭用工業用マシンのメーカーとして昭和 12 年に創業いたしました。

マシン産業における精密加工技術の実績を基盤として、常に時代のニーズを反映した事業の拡大、発展に努めてまいりました。

創業以来、事業を通じて事業責任を果たすため、「最高の品質で社会に貢献し、会社の繁栄と従業員の幸福を希って今日を築き、明日を拓こう」を企業理念として努力してまいりました。

（５）経営理念

「 全ての技術は人と地球の幸せな未来のために 」

をスローガンに、フコク東海は環境にやさしい“ものづくり”に取り組みます

二十世紀、人類史上初めて宇宙へ飛び立った宇宙飛行士は、私たちの住む星を遥か上空から眺めて「地球は青かった」と記憶に残る一言を発しました。その青く輝いていた美しい星「地球」が今日、灰色がかって見えると言われています。さらなる便利さを求めた文明の発展は、地球環境への弊害も同時に派生させてきました。コンクリートが地表面を覆い、排煙が大気を濁し日に日に地球を呼吸困難な状態にしています。この社会的問題を少しでも解消できる製品開発を積み重ね、現代社会と環境保全のより良いバランスを目指し、人の心に暖かさと呼び起こす地球に優しいクリエイティブな製品を自信を持ってお届けする事業を展開しております。

2. 事業内容

当社は、電子事業部、設計開発室、切削事業部、建機事業部、空調衛生事業部、エンジニアリング事業部、環境ソリューション事業部に分かれ、さまざまな事業を手掛けている。自動車部品をはじめとする電子制御部品や大型板金製品・切削加工製品の製造では、製品の超小型化・高精密化・高精度化への取り組み、合理性を追求したデザイン、高度な技術と設備群により、顧客の多種多様なニーズに応えている。空調プラント、水処理設備、給排水設備の提供や環境に適応した設計・施工なども手掛けており、人々の暮らしをより良くし、事業活動を通して環境保全に努めている。

(1) 電子制御部品の製造

電子事業部、設計開発室が手掛ける。一貫即応体制により、斬新なアイデアと圧倒的なスピードで、あらゆるニーズに対応できる製品を製造することが可能。

【受注から出荷までの流れ】



電子事業部

豊富な経験と多くの実績によって蓄積された技術力、365日24時間稼働可能な現場力を元に、柔軟で高度な提案・設計と、高品質でスピーディな製造を実現。自動車部品や工業計器、医療機器などの各種産業機器に使われる電子基板の少量多種製品から大ロット量産製品に至るまで、顧客の要望を形にするために最新技術と最先端設備で対応している。特にマイコンを組み込んだ機器やコンピュータによる計測制御アプリケーションなど、エレクトロニクス分野におけるハードウェア・ソフトウェアの開発を得意としており、低公害型自動車用の制御バルブ開発、工場・各種施設に関わる環境改善システムの提案などにも活かされている。海外の環境対策関連製品提供など、生産活動を通して幅広い分野で環境改善に向かい合った取組も行っている。電子部品の自社調達、基板の試作から実装までの一貫した生産体制をとっており、リアルタイムデリバリーを可能にし、トータルコストダウンという側面でも役に立っている。

【電子事業部 製品例】



【車載用スイッチ】

車載 ECU・パワーウィンドウスイッチをはじめとした、様々な基板 Assy を手がけており、高い信頼性で安全かつ便利な運転をサポートしている。



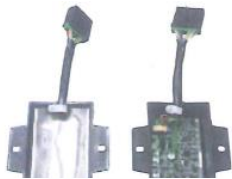
【セキュリティシステム】

盗難防止性能を飛躍的に向上させた産業機器用セキュリティシステムで、大事な産業機器を守っている。

設計開発室

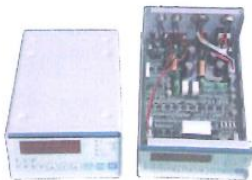
電子事業部の一部門として生まれた組織。あらゆる設計技術を磨いて融合させ、提案、開発、設計、試作まで一貫してサポートしている。過去の開発過程のデータベース化や、短納期高品質な開発手法の構築により、クライアントの多様な要望に対応。自動車用の電子制御部品や各種計測機器の設計開発はもとより、検査用ソフトウェアや制御システムなども並行開発し、あらゆるシーンに対応できる総合支援が可能な体制の推進を図っている。製品設計にとどまらず、生産における内製検査機の導入サポートや信頼性評価試験などの要望にも対応している。常に視点を変え、EMS の分野でも顧客の要望に応え続けている。

【設計開発室 自社開発製品例】



【リターダ】

車載品として、トラック、バス、建機等に搭載されている CAN 通信コントローラのリターダは、幾多の信頼性試験をクリアし実用化されている。



【Nox 分析計】

設計・実装・組付・作動検査を経て制作された工場内一貫生産製品。エンジン調整用に採用されている。



【酸素濃度計】

設計・実装・組付・検査を実施し、一貫生産した製品。電子機器、食品製造設備など、幅広く使われている。



【自販機基板】

自動販売機の性能を大きく左右する制御基板を開発・設計。現在、卵自販機の特種自販機に採用されている。



【シフトレバー検査器】

量産用自動車シフトカバーの機能及び機構を自動で検査する機械。

～生産設備の基盤となる工場環境～

プリント基板設計・部品実装基板レイアウトなどの設計領域を担う設計開発室と、それを製品化に導く高度な技術力を擁した電子事業部を密接に繋ぎ、アシストしているのが完成度の高い工場環境である。地震災害時にも供給を維持する耐震構造を備えた堅固な工場には、高度な品質を維持し続けるためのさまざまな先進設備が完備されている。

《工場環境について》



防災活動の取り組み 【制震用ダンパ】

地震など自然災害に強い工場。地震被害を最小限に防ぐため、工場に制震用ダンパを取り付けており、製品供給にトラブルがないよう配慮している。従業員のみなならず、地域住民も使用できる AED が設置されている。



異物防止への取り組み 【エアシャワー】

工場入口にエアシャワーを設置し、徹底した一方通行システムで、ゴミ・ホコリの持込を防ぎ、工場のクリーン度をアップしている。



静電気防止への取り組み 【静電気防止対策設備】

安心かつ信頼性のある製品を製作する為に、工場内全てに静電防止床を使用しており、静電気による部品破壊を防いでいる。



温度、湿度管理システム

温度 20～28℃、湿度 40%以上で工場全体を自動で管理し、静電気による不具合対策を実施している。

《製造条件について》



液体窒素供給タンク

鉛フリー製品の品質安定のため、24H 液体窒素の供給が可能。



電子部品倉庫【電子部品保管庫】

部品倉庫は温度・湿度管理と First In First Out 管理を基本として電子部品を管理している。



生産ライン

表面実装・ディスクリート・混載基板、対応が可能で、DIP はんだ槽など、多くのお客様のニーズにお応えする工程を一貫して備えており、品質の確保、納期の短縮・コスト削減に対応できる。

《電子事業部工場内設備》



実装ライン

高密度表面実装・ディスクリート・混載基板、形状・サイズは大型（L 型）・異形や多層基板まで、高品質実装をサポートし、生産数量や生産計画等、顧客の要望に合わせて柔軟に対応。多種多様な基板に最適な温度プロファイルを検証し、車載基板を始め、多くの分野の顧客への製品を送り出している。



フローはんだ槽

フローはんだ付け技術においても鉛フリー・鉛含有を問わず対応可能。製造条件及び完成品の信頼性試験を徹底検証し、はんだ付け作業の効率化、はんだ付け品質の均一化を目的に、DIP パレットなどを使用し、チップ部品と手挿部品の混載基板の自動はんだ付けを行っている。



製品検査ライン

3D 画像検査器の導入により高い検出力を目指しており、チップ部品はもちろん、狭ピッチ QFP に対しても安定した品質を実現し、顧客に満足いただける高品質な製品提供を行っている。



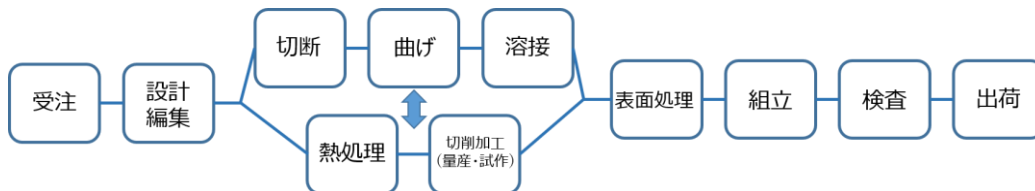
品質管理体制 【検査機器・加工設備】

ISO9001、IATF16949、ISO14001 に準じた管理体制を行っている。これまで培った技術をもとに、試作段階から工程 FMEA、工程能力評価、製品信頼性評価を実施し、徹底した品質管理、品質保証システムにより、良い製品だけを顧客へ届けている。

(2) 大型板金製品・切削加工製品の製造

主に切削事業部、建機事業部が手掛ける。部署同士の連携により社内一貫体制も確立しており、資材の調達から組立まで、同じ工場内での製造が可能。

【受注から出荷までの流れ】



切削事業部

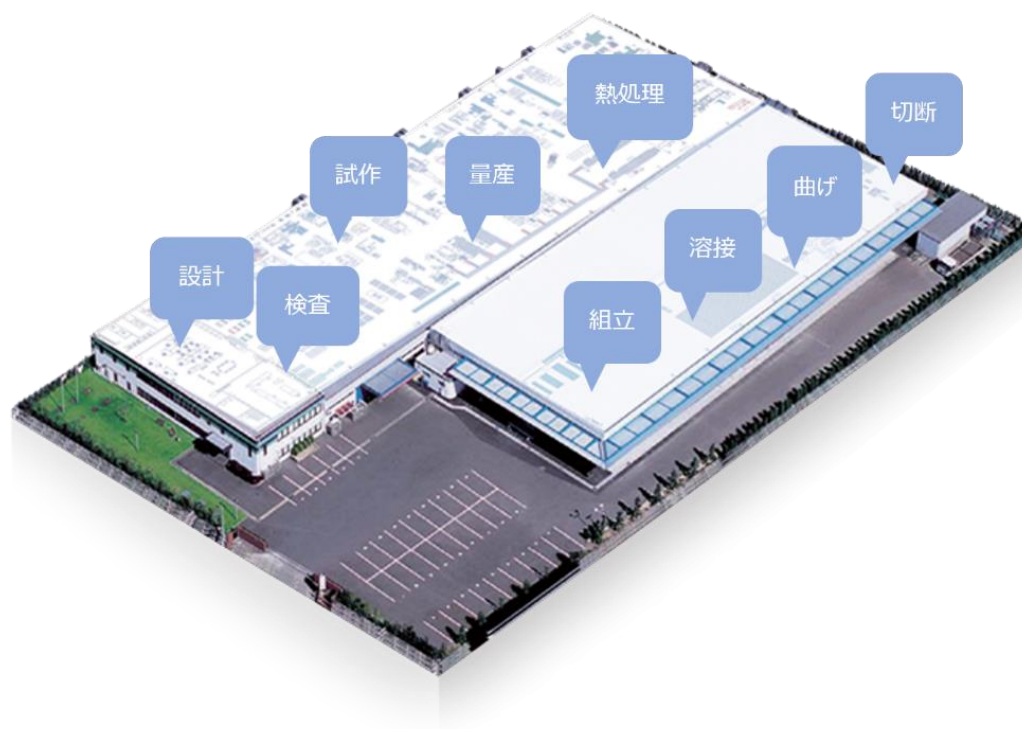
汎用設備と独自の技術開発による製造ラインで、自動車・オートバイ部品や工作機械、電力会社設備、航空機部品、光学機器など、幅広い分野ヘミクロン単位の高精度な製品を制作し、その技術と信頼性で高い評価を受けている。24 時間体制の量産ライン・試作ラインで、顧客の求める短納期体制を実現。少量生産を可能にした試作ラインもまた、最新鋭の設備機器があらゆる工程を担い、顧客ニーズに応え続けている。

同じ工場内にある建機事業部とのリンク生産体制で組立まで行い、幅広い製品製造分野に高度な技術を提供している。

建機事業部

一般製缶加工をはじめ、超大型製缶板金、精密製缶などの試作品や特注品から大量生産品まで、顧客の幅広いニーズに応えている。プレス・レーザーの各種加工や熟練スタッフが行う溶接加工、高度な板金加工技術と高性能で多様な設備により、長きにわたり培った経験と実績が高品質な製品づくりを支えている。建設用部材・各種重機器・プラント製品など切削事業部と連携した社内一貫体制で、資材調達から組み立てまで同じ工場内での製造が可能。塗装・メッキなどの表面処理や特殊加工などは連携した企業ネットワークで総合的に対応している。

～事業拠点となる佐屋工場～



【製品例】

送風機ファンカバー



電力会社設備



自動車部品



車両部品



専用機



車両部品



特注品



カメラ部品・医療製品



(3) 空調プラント、水処理設備、給排水設備等の提供

主に空調衛生事業部が手掛ける。販売部門、物流部門、サービス部門、ユニットマンホール部門の4部門で構成され、各部門の強みを活かし互いに協力することで、全ての設備に関わる提案から販売、配送、施工やメンテナンスに及ぶまでの一貫したサービスを提供することができる。

【一貫したサービス体制】

販売部門 仕様提案・積算見積

物流部門 機器搬入

サービス工事部門 機器設置

サービス管理部門 アフターサービス・保守管理

空調衛生事業部

○販売部門

豊富な経験と専門知識豊かなセールスエンジニアを有する。各メーカーの代理店として、機器の性能・特徴を熟知し、顧客にとって最適なシステム提案を元に、サブコンへ販売している。納期や価格、迅速な対応等、トータルな意味でのサービス向上はもとより、さらなる情報収集とコミュニケーションの充実を図り、タイムリーな製品の提案を行っている。物流部門との連携で、顧客の細かなニーズにも応えている。

【取扱商品】



省エネ空冷ヒートポンプデラール



省エネターボ冷凍機



省エネ・環境対応次世代型ボイラー



冷却塔（クーリングタワー）



省エネ業務用大型エアコン



空調衛生ポンプ



ルーフファン（屋上用換気扇）



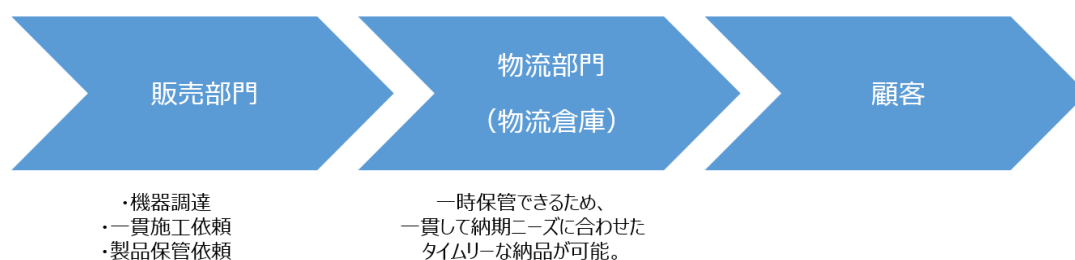
送風機（ブロー）



エコキュート

○物流部門

販売部門が取り扱った製品の出荷・搬送業務を担当している。ユニットマンホール部門の持つ品質管理の行き届いた倉庫環境を利用して製品ストックヤード業務を展開しており、ファン・ポンプ・エアコン機器等の興業製品をはじめ重量製品に至るまで、ユーザーの商品を指定期間保管し、指定期日に確実に納品する配送デリバリーを担い、顧客の効率性を支援している。軽車両からユニック車まで最適な輸送手段で最良の物流サービスを提供するだけでなく、工期の遅れへの対応や分割配送など、きめこまやかな対応で、保管や納期管理を全面に請け負っており、販売部門をサポートしている。



○サービス部門

快適な空間を維持し続けるためには、空調設備や給排水衛生設備の定期的な保守・メンテナンスによって、深刻な事態に陥る前の対処が重要となる。サービス部門では、提案から保守、施工に至るまで、全ての設備に係る維持管理を一貫して請け負うサイクルを確立している。エアコン・ボイラー・ポンプ類のメンテナンス管理、水管の老朽化から起こる異物の除去・クリーニング工事、ポンプのオーバーホールなど、施設設備の機能保守は多岐にわたる。迅速な対応でトラブルを最小限にとどめるサービス体制を整え、快適な空間の機能保全と省エネ運転を維持している。



《設計・計画》

空調設備や給排水衛生設備において、顧客に合った機器の選定、要件に沿った設計等を行う。

《施工》

品質、工期、安全、原価にこだわり施工。高品質を保ちつつ、工期短縮による低コストを実現。

《保守・点検》

予防保全の観点から点検・整備・修理を行い、トラブルを最小限におさえるサービス体制を整え、快適な空間の機能保全と省エネ運転を維持する。

《改善提案》

保守・点検で得た情報を元にして、省エネ・低コストなど、要望や環境に合わせた修理、場合によっては入れ替えの提案をはじめとした設備改善の提案を行う。

《修理・メンテナンス》

水漏れや異音等の不調を早期に発見し、原因を探る。症状によって、消耗部品の交換提案やオーバーホールなど、最適な修理・メンテナンスを実施。

《機器更新》

設備の劣化にともなう機器交換の提案を行い、本体の入れ替えなど、リニューアル工事を行う。

【実績紹介（一例）】

空調施工実績・・・コカ・コーラ東海工場、名古屋市交通局 原ターミナル

衛生施工実績・・・中部看護専門学校、名古屋市南部市場

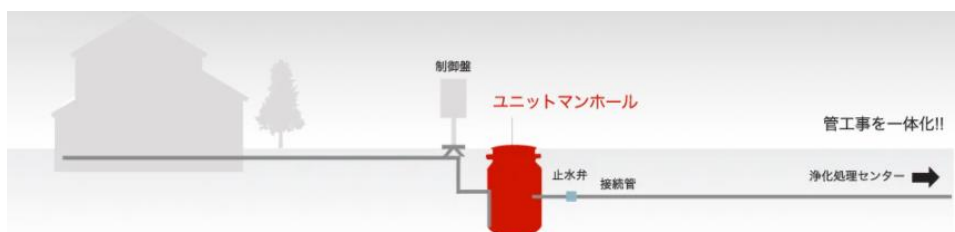
保守メンテナンス実績・・・名古屋市科学館、中京競馬場

○ユニットマンホール部門

～ユニットマンホールとは～

一般家庭やビルにおいて、汚水を浄化センター等の処理槽に送り込み、キレイな水を下水に流すための機器

ユニットマンホールの現地施行、稼働実験、設置の後メンテナンス、定期点検など、一貫したシステム供給を行っている。管工事と一体化した施行経験と独自の技術を活かし、メンテナンスや組付けがしやすいよう改良を重ね、現場ならではの細かな部品の改良を繰り返し、現在ではユニットマンホールメーカーから製造を委託されている。メーカーで設計された図面を、環境に合わせてカスタマイズし、建機事業部で製作した部品を現地で組み立てるなど、独自の改良を加えつつ製造している。耐熱性・耐候性・耐薬品性を有し軽量かつ強度に優れ、形状の自由度も高い FRP 素材を用いた小規模圧水式下水道システムの製造販売に着手しており、一般住宅・病院・ホテル・工場等、幅広い施設でコンパクトタイプの汚水槽が採用されている。



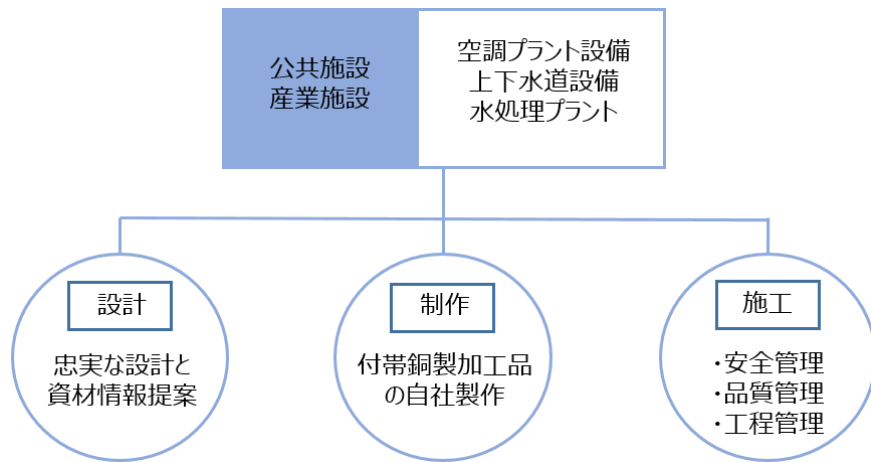
（４） 上下水道設備や水処理プラントなどの設計・施工

エンジニアリング事業部が手掛ける。地球にやさしい環境と人に快適な環境の両立など、環境保全に取り組んでいる。他部署との連携により、機器の選定や製造まで一貫して行うことで理想の設備を実現し、アフターフォローまで応えることの出来る体制を整えている。

エンジニアリング事業部

地球にとって優しい環境、人にとって快適な環境など、環境という分野を総合的な視点で研究し、公共施設・産業施設の上下水道設備や水処理プラントなどの設計・施工を通して、快適な空間を創り出している。

あらゆる角度から対象となるプラントの効率化と実用性を考え、整備・改善・改良活動・新設備の導入などをトータルサポートし、環境保全や安全面についても、それぞれの業務内容に配慮した調査・計画を行う。各種プラントの調達・アフターフォローまで応えることのできる体制も整備されている。



【施工事例】

浄水処理設備 施工事例



【施工実績（一例）】

管工事・・・志登茂川浄化センター 水処理設備工事、浄心雨水調整池 機械設備工事
 機械器具設置工事・・・守西ポンプ所 主ポンプ設備工事、平城浄化センター 機器据付配管工事
 電気工事・・・稲狐揚水機場、飛島分水工 制御設備外整備工事

【建設業許可】

建設業者許可番号 国土交通大臣 許可（特・般）第16443号、土木工事業、とび・土工工事業、電気工事業、管工事業、石工事業、塗装工事業、機械器具設置工事業、水道施設工事業、舗装工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業

【有資格者数】

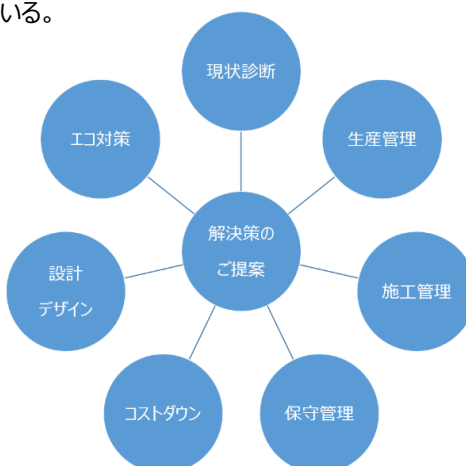
資格名称	資格者数
1級土木施工管理技士	8名
1級管工事施工管理技士	9名
1級電気施工管理技士	3名
監理技術者	5名

（５） 環境に適応したデジタルソリューションの提供

環境ソリューション事業部が手掛ける。環境に適応したデジタルソリューションを通じて、より良い環境へのイノベーションを起こし、より明るい未来を提供するために、設計から施工までの一貫生産や技術の向上に向けさまざまな取り組みをしている。

環境ソリューション事業部

進化するエネルギーコンポーネントを効果的につなぎ、ビル、店舗、工場など様々な単位でエネルギーを最適に制御するマネージメントを提供している。オーダー製品に対しては、フコク東海の主力となる電子事業と多彩な大型機材を擁する鉄管製造事業をバックに自社一貫生産を目指している。それにより、企画・設計・製品製作から調達・廃棄及び回収・リサイクルまでトータルなワンストップサービスを実現。さまざまなビジネスシーンで環境付加低減のためのソリューションを的確に提案している。



【取り組み事例】

～既存のショーウィンドーをサイネージに変更～

ガラス越しでも操作可能なタッチセンサー。人感センサーを内蔵することで、シーンに合わせた切り替えが可能となり、普段はアート映像を、人が近づくと映像が消えてミラーになり、さらに近づくと情報が出る。周囲にセンサー類やコード不要のこのシステムは、広告メディアだけに留まらず、アイデア次第で建築、空間デザイン、家具等プロダクトの素材として幅広く活用できる可能性を秘めている。



～省エネと見やすさの両立を実現した導光板～

当社の導光板は、全国の駅や空港、病院など公共の場でも重要な役割を担っている。環境にやさしいブルーライトを使用し、省エネ化だけでなく、きれいで鮮明な、見やすいサインを実現し、生活者の皆様の便利な生活を支えている。

3. ESG・SDGsの取り組み

(1) 環境負荷低減への取り組み

事業活動における環境破壊を最小限に食い止め、環境に与える影響をできるだけ小さくしていくための環境マネジメントシステムに関する国際規格 ISO14001 を取得。日常活動、業務の中で有害有益を問わず、環境に影響を与える要素を洗い出し、大切な地球を守っていくという目標に向けた行動計画に基づき、努力している。

当社は自動車産業のティア2に位置し、CO₂削減目標をたて実現に向けて取り組みしている。照明のLED化は既に完了させ、また自家消費型の太陽光発電設備を富永工場と佐屋工場に導入している。

(2) 地域貢献

年に1回、地域の住民や社員向けにビアパーティーを開催、また、近隣のこども園と協力し、避難場所として避難訓練に協力するなど、地域とのコミュニケーションを積極的に行っている。

また、地域貢献の一つとして名古屋市に対しては現在34年連続で寄付を行っており、福祉事業などに活用されている。その他にも図書館や災害地域への寄付を行っている。



（３）女性活躍推進・人材育成

当社はあいち女性輝きカンパニーとして、育児休業および年次有給休暇の取得促進により、家庭と仕事の両立を支援、また正社員登用など、挑戦する機会を提供するなど女性が活躍でき、安心して働ける環境づくりに努めている。中途採用においても女性を積極的に採用しており、また営業スキルを身に付けるためにOJTを主体に人材育成に努めている。

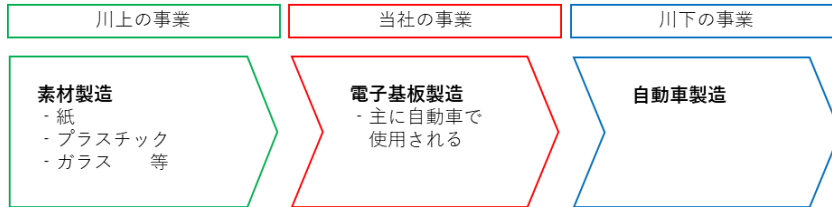
また、社員のスキルアップに向けて、資格取得の補助金を支給するなど資格取得のサポートを実施している。当社のエントランスには保有資格ごとに社員の名前と顔写真が掲載されており、社員のモチベーションアップにも繋げており、スキルマップや人事管理システム、目標管理システムを活用することで計画的に人材育成に取り組んでいる。

4. インパクトの特定

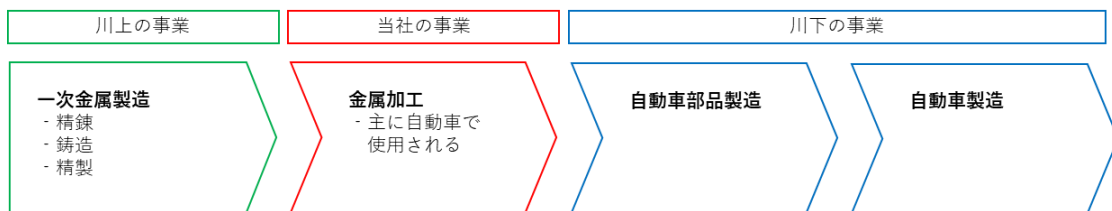
(1) バリューチェーン分析

インパクトの特定のため、当社の主力事業についてバリューチェーン分析を実施する。

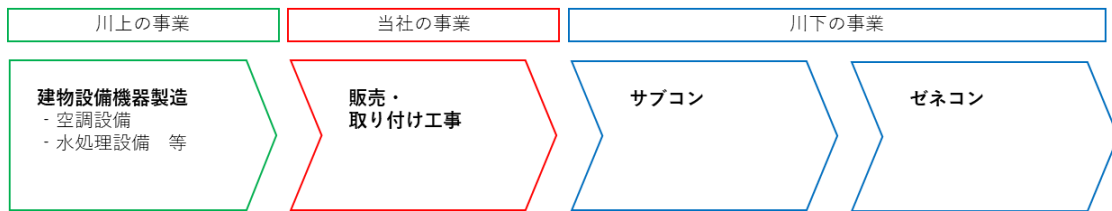
【電子事業】



【切削加工事業】



【空調衛生事業】



(2) インパクトマッピングによるインパクト分布

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

当社及び川上・川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FIが提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」と「ネガティブインパクト」を想定する。

川上の事業は「パルプ、紙及び板紙製造業」「プラスチック及び合成ゴム素材製造業」「ガラス及びガラス製品製造業」「その他の電気機器製造業」「一次鉄鋼製造業」「一次貴金属・その他非鉄金属製造業」「鉄鋼鋳造業」「非鉄金属鋳造業」「その他のポンプ、圧縮機、タプ及び弁製造業」「その他の一般機械製造業」を、当社の事業は「電子部品及び基板製造業」「自動車部品及び付属品製造業」「金属の処理・塗装・機械加工業」「配管・暖房・空調設備工事業」「その他の建造物設備設置工事業」を、川下の事業は「通信装置製造業」「照射、電気医療及び電気療法装置製造業」「自動車製造業」「自動車部品及び付属品製造業」「建築工事業」をそれぞれ適用し、インパクトの検証を実施。

当社の事業については、該当する全てのインパクトカテゴリについて分析する。川上・川下の事業については、当社が関与できる部分を分析対象とする。分布図中の「赤色」は重要な影響があるカテゴリ、「黄色」は影響があるカテゴリを示す。

(3) インパクト分布図

①当社の川上における事業のインパクト

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業									
	1701 パルプ、紙及び板紙製造業		2013 プラスチック及び合成ゴム素材製造業		2310 ガラス及びガラス製品製造業		2790 その他の電気機器製造業		2410 第一次鉄鋼製造業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水										
食料										
住居										
健康・衛生										
教育										
雇用										
エネルギー										
移動手段（モビリティ）										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義・公正										
強固な制度・平和・安定										
水（品質）										
大気										
土壌										
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										
気候										
廃棄物										
包括的で健全な経済										
経済収束										

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業									
	2420 第一次貴金属・その他非鉄金属製造業		2431 鉄鋼製造業		2432 非鉄金属製造業		2813 その他のポンプ、圧縮機、タッブ及び弁製造業		2819 その他の一般機械製造業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水										
食料										
住居										
健康・衛生										
教育										
雇用										
エネルギー										
移動手段（モビリティ）										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義・公正										
強固な制度・平和・安定										
水（品質）										
大気										
土壌										
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										
気候										
廃棄物										
包括的で健全な経済										
経済収束										

川上の事業では、主に環境面でのネガティブインパクトが発現する。

当社は、工程内不良率の削減に努め、原材料ロスの削減に貢献することで、川上の事業における「資源効率・安全性」のネガティブインパクトの低減に努めている。

その他の項目については、当社事業活動が与える影響が軽微もしくは、当社が直接的関与することができないものであるため、分析を省略している。

②当社における事業のインパクト

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	当社の事業									
	2610 電子部品及び基板製造業		2930 自動車部品及び付属品製造業		2592 金属の処理・塗装・機械加工業		4322 配管・暖房・空調設備工事業		4329 その他の建造物設備設置工事業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水										
食料										
住居										
健康・衛生										
教育										
雇用										
エネルギー										
移動手段（モビリティ）										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義・公正										
強固な制度・平和・安定										
水（品質）										
大気										
土壌										
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										
気候										
廃棄物										
包括的で健全な経済										
経済収束										

【移動手段】

当社の電子基板は主に自動車の車載 ECU、パワーウィンドウ、セキュリティシステム等に使用されている。自動車を利用する人々に、安全で効率的な移動手段を提供することに貢献しており、「移動手段」にポジティブインパクトを与える。このように「移動手段」にポジティブインパクトを与える一方、自動車の利便性が向上することは徒歩、自転車、公共交通機関等の他の移動手段の利用機会を減らすことに繋がり、「移動手段」にネガティブインパクトも与える。

【住居】【健康・衛生】【水】

当社の電子基板は自動車以外にも、家庭用電話、医療用機器等にも使用され、また、当社で行っている建物設備製品の取り付けにより、人々に快適で衛生的な住環境を提供し、「住居」「健康・衛生」にポジティブインパクトを与える。特に水設備の取り付けは、十分に安全な水へのアクセスを容易にし、「水」にポジティブインパクトを与える。

【雇用】

当事業を通して雇用を生み出し、従業員の生活に貢献することから、「雇用」にポジティブインパクトを与える。当社は、女性活躍推進企業として、働きやすい職場環境を整備しており、さらなるインパクトの増強に努めている。一方、労働条件によっては従業員の健康と安全を阻害し、また、金属加工時に発生する有害物質などにより、従業員の健康状態に悪影響を及ぼす可能性があり、「雇用」にはネガティブインパクトも与える。

【資源効率・安全性】【大気】【気候】【廃棄物】

資源の観点では、製造過程において、エネルギー、金属等の限りある資源を利用し、製品の消費後は廃棄物となるため、「資源効率・安全性」「廃棄物」にネガティブインパクトを与える。また、温室効果ガスの排出により、「気候」にもネガティブインパクトを与える。

このような環境面におけるネガティブインパクトに対し、当社では令和3年12月から自家消費型の太陽光発電を導入、また製品不良を極限までゼロにすることを目標に掲げ取り組むことで、ネガティブインパクトを軽減している。温室効果ガスにおいては、サプライチェーン全体で取り組むカーボンニュートラル化に向けて、当社が発生させる排出量を削減することでネガティブインパクトを低減している。

【包括的で健全な経済】

電子基板の製造を通じ、社会・経済に付加価値をもたらす、製造業は健全な経済の一部であり、様々なサプライチェーンをサポートすることから、「包括的で健全な経済」にポジティブインパクトを与える。

「水(品質)」「土壌」「経済収束」の項目については、当社の事業活動が与える影響は軽微なため分析を省略している。

③当社の川下における事業のインパクト

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川下の事業									
	2630 通信装置製造業		2660 照射、電気医療及び電気療法装置製造業		2910 自動車製造業		2930 自動車部品及び付属品製造業		4100 建築工事業	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水										
食料										
住居										
健康・衛生										
教育										
雇用										
エネルギー										
移動手段（モビリティ）										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障										
正義・公正										
強固な制度・平和・安定										
水（品質）										
大気										
土壌										
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										
気候										
廃棄物										
包括的で健全な経済										
経済収束										

【エネルギー】【資源効率・安全性】【気候】

空調衛生事業部の販売部門では、エンドユーザーにとって最適なエコ・省エネ環境を創り上げるための提案を行っており、「エネルギー」「資源効率・安全性」「気候」へのネガティブインパクト低減に努めている。

【水（品質）】

また、当社オリジナルのユニットマンホール（汚水を浄化センター等の処理槽に送り込み、キレイな水を下水に流すための機器）の提供は水質汚染の防止に繋がり、「水（品質）」のネガティブインパクトを低減できる。

（４）特定したインパクト

主要業種の分析結果として、主に「移動手段」および「包括的で健全な経済」のポジティブインパクトの拡大が期待できる。自動車製造に不可欠な部品（車載 ECU、パワーウィンドウ、セキュリティシステム等）の提供を行うことで、自動車業界を支え、人々の移動利便性向上に貢献している。また、自動車製造で培った品質レベルの製造能力により、様々な製品を高品質で供給することができる。

環境面におけるネガティブインパクトにおいては、ISO14001 の認証取得による環境マネジメントシステムの構築、太陽光発電設備の設置、照明の LED 化等による製造工程のCO₂排出量の削減や、廃棄物削減や適切な処理などに取り組むことで環境負荷低減を図っている。

上記分析を踏まえ、KPI を設定する。

（５）国内のインパクトニーズ

下記に示したのは、「SDGs インデックス＆ダッシュボード 2024」を参照したものであり、「SDGs 達成を緑色」、「課題が残っている SDGs を黄色」、「重要な課題を橙色」、「主要な課題を赤色」としている。

「４．インパクトの特定」において中京銀行が特定した株式会社フコク東海のインパクトと対応する SDGs のゴール「8，13」について、多くが課題のあるゴールに該当するものとなっており、国内のインパニーズと整合的である。



特定したインパクトカテゴリー	対応するSDGs
雇用	8「働きがいも経済成長も」
移動手段、包括的で健全な経済	9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
気候	13「気候変動に具体的な対策を」

(6) 特定したインパクトに対する中京銀行の方向性との確認

中京銀行は、経営ビジョンにおいて「地域社会に貢献する」ことを"私たちの使命"として定め、本業を通じた環境・社会課題の解決と持続的成長を両立すべく、SDGs や ESG に取り組んでいる。上記分析で特定した株式会社フコク東海の事業活動によるインパクトは、中京銀行のサステナビリティの方針と整合的である。

5. 測定する KPI（2030 年に向けた目標）

中京銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理し、2030 年に向けた目標として KPI を設定した。

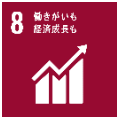
（1）最高品質の製品の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大 経済面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「移動手段」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
対応方針	・培った技術力を活かし、高品質な製品やサービスを提供する生産体制を維持しながら、供給を促進する
KPI・目標	・当社事業の過半を占める自動車関連製造部門の売上高を毎年度、前年度比で 3%増加させる。 ・ISO9001 認証の更新・維持 ・IATF16949 認証の更新・維持 ※IATF16949 認証：自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格。認証機関は British Standards Institution

（2）環境に配慮した取り組みの促進

項目	内容
インパクトの種類	環境面におけるネガティブインパクトの縮小
インパクトカテゴリー	「気候」
関連する SDGs	
対応方針	・環境マネジメントシステムに則った環境負荷軽減活動を継続して実施する ・PPA による再エネ電力の利用、全照明設備の LED 化、空調機器の室外機更新等により、事業活動における温室効果ガス排出量を削減する
KPI・目標	・ISO14001 認証の更新・維持 ・工場（富永・佐屋）の生産高あたりの CO ₂ 排出量を 2030 年 12 月期に 2023 年 12 月期比 30%削減

(3) 働きがいある職場環境づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	・時短勤務や急な休暇へのサポート体制の構築による、男女問わず誰もが働きやすい職場風土づくり ・管工事施工管理技士や土木施工管理技士など業務に必要な各種資格取得費用の補助支援や全社員集会での表彰など従業員のスキルアップへのモチベーションの向上
KPI・目標	・2028 年 12 月期までに従業員数を 400 名とする。(現在 363 名) ・2028 年 12 月期までに業務に必要な資格（管工事施工管理技士、土木施工管理技士、電気工事施工管理技士、機械加工技能士、危険物取扱者、I T パスポート）の新規取得者数を 10 名以上とする。(2023 年 12 月期の取得者数：2 名)

6. インパクトの管理体制

株式会社フコク東海は、最高責任者を伊藤社長として組織的にインパクトの管理体制を整備している。また、伊藤社長を中心に管理本部と連携しサステナビリティ経営の充実にに向けた施策の検討及び実施・検証する体制を構築している。

「中京ポジティブ・インパクト・ファイナンス」におけるインパクトについては、伊藤社長と管理本部が中心となり、KPI の達成に向けた施策を展開する。

【管理体制】

最高責任者	代表取締役 社長 伊藤 幹根
管理責任者	執行役員 管理本部 部長 大坪 洋治
担当部署	管理本部

7. モニタリング方法

「中京ポジティブ・インパクト・ファイナンス」で設定した KPI の進捗に対するモニタリングは、インパクト管理担当部署と株式会社中京銀行の担当部署（営業店および営業推進部ソリューション営業グループ）が年 1 回以上の協議にて確認する。

協議において、株式会社フコク東海は設定した KPI の達成度について情報を開示する。株式会社中京銀行は、達成度・進捗度を確認・検証したうえで、必要があれば KPI の修正を検討し、同社に対して適切な助言を行い支援する。

また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センター（R&I）による包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

本件については、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」に準拠したファイナンスであり、株式会社フコク東海の事業活動がポジティブインパクトの増大およびネガティブインパクトの低減につながることを確認した。また、KPI 達成に向けた取り組みやモニタリングを通じ、持続的な ESG および SDGs への貢献につながる取り組みであることを確認した。

以 上



セカンドオピニオン

中京銀行 ポジティブインパクトファイナンス

2024 年 9 月 30 日

株式会社フコク東海

サステナブルファイナンス本部

担当アナリスト：石井 雅之

格付投資情報センター(R&I)は中京銀行がフコク東海に対して実施するポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)が制定したポジティブインパクト金融原則(PIF 原則)に適合していることを確認した。

R&I は別途、中京銀行のポジティブインパクトファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している¹。今回のファイナンスに関して中京銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

中京銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

(1) 対象先

社名	株式会社フコク東海
所在地	愛知県名古屋市
設立	1948 年 4 月
資本金	5000 万円
事業内容	自動車用電子制御部品設計製作 酸素分析計など各種測定器設計製作 各種ソフトウェア、システム開発関連業務 精密製罐、板金設計製作 各種プラント設備設計、製作、据付、施工 二輪車、自動車用部品の機械加工 その他シリンダー等精密加工 空調、冷凍、給排水衛生、受変電設備、関連機器販売及び設計、施工、メンテナンス 屋外工作物のデザイン・設計・制作・施工
売上高	179 億円(2023 年 12 月期)
従業員数	363 名(2024 年 8 月時点)

(2) インパクトの特定

中京銀行は対象先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリを SDGs に対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)が提供する SDG ダッシュボードなどを参照し確認した。

¹ 2023 年 4 月 21 日付セカンドオピニオン「＜中京＞ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」
https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/04/news_release_suf_20230421_jpn_1.pdf

(3) インパクトの評価

中京銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようにインパクトの内容を整理してKPIを設定した。ポジティブインパクトはSDGs達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、中京銀行のサステナビリティの方針と整合的であることを確認した。

① 最高品質の製品の提供

インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大 経済面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	「移動手段」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
対応方針	・培った技術力を活かし、高品質な製品やサービスを提供する生産体制を維持しながら、供給を促進する
KPI・目標	・当社事業の過半を占める自動車関連製造部門の売上高を毎年度、前年度比で3%増加させる ・ISO9001 認証の更新・維持 ・IATF16949 認証の更新・維持 ※IATF16949 認証：自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格。認証機関は British Standards Institution

② 環境に配慮した取り組みの促進

インパクトの種類	環境面におけるネガティブインパクトの縮小
インパクトカテゴリ	「気候」
関連する SDGs	
対応方針	・環境マネジメントシステムに則った環境負荷軽減活動を継続して実施する ・PPA による再エネ電力の利用、全照明設備の LED 化、空調機器の室外機更新等により、事業活動における温室効果ガス排出量を削減する
KPI・目標	・ISO14001 認証の更新・維持 ・工場(富永・佐屋)の生産高あたりの CO ₂ 排出量を 2030 年 12 月期に 2023 年 12 月期比 30%削減

③ 働きがいある職場環境づくり

インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	・時短勤務や急な休暇へのサポート体制の構築による、男女問わず誰もが働きやすい職場風土づくり ・管工事施工管理技士や土木施工管理技士など業務に必要な各種資格取得費用の補助支援や全社員集会での表彰など従業員のスキルアップへのモチベーションの向上
KPI・目標	・2028 年 12 月期までに従業員数を 400 名とする（現在 363 名） ・2028 年 12 月期までに業務に必要な資格（管工事施工管理技士、土木施工管理技士、電気工事施工管理技士、機械加工技能士、危険物取扱者、IT パスポート）の新規取得者数を 10 名以上とする（2023 年 12 月期の取得者数：2 名）

(4) モニタリング

中京銀行は対象先の担当者との会合を少なくとも年に 1 回実施し、本 PIF で設定した KPI の進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い対象先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以 上

【留意事項】

本資料に関する一切の権利・利益（著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、特段の記載がない限り、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、本資料の全部又は一部を使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）することは認められません。

R&Iは、本資料及び本資料の作成に際して利用した情報について、その正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

また、本資料に記載された情報の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報の使用に関連して発生する全ての損害、損失又は費用について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負いません。

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとし、セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による承諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントは、グリーンボンドで調達された資金が、環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対するR&Iの意見です。R&Iグリーンボンドアセスメントでは、グリーンボンドフレームワークに関してのセカンドオピニオンを付随的に提供する場合があります。対象事業の環境効果等を証明するものではなく、環境効果等について責任を負うものではありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

R&Iグリーンボンドアセスメントは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。R&Iグリーンボンドアセスメントは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&IはR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、資料・情報の不足や、その他の状況により、R&Iの判断でR&Iグリーンボンドアセスメントを保留したり、取り下げたりすることがあります。

R&Iは、R&IがR&Iグリーンボンドアセスメントを行うに際して用いた情報、R&IのR&Iグリーンボンドアセスメントその他の意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やR&Iグリーンボンドアセスメントの使用、あるいはR&Iグリーンボンドアセスメントの変更・保留・取り下げ等に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとし、R&Iグリーンボンドアセスメントは、原則として申込者から対価を受領して実施したものです。

【専門性・第三者性】

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。また、2022年から経済産業省の温暖化対策促進事業におけるトランジション・ファイナンスの指定外部評価機関に採択されています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>）に開示しています。

R&Iは2022年12月、金融庁が公表した「ESG評価・データ提供機関に係る行動規範」（以下、「行動規範」という。）の趣旨に賛同し、これを受け入れる旨を表明しました。行動規範の6つの原則とその実践のための指針へのR&Iの対応状況についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/products/esg/index.html>）に開示しています（以下、「対応状況の開示」という。）。

R&Iと資金提供者及び資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。

なお、R&IはESGファイナンスによる資金提供あるいは資金調達を行う金融機関との間で、金融機関の顧客にR&IのESGファイナンス評価を紹介する契約を締結することがありますが、R&Iは、独立性を確保する措置を講じています。詳細は対応状況の開示をご覧ください。